

上京

史蹟と文化



美を創る

平成25年12月、「和食…日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。そこで今回は、元祖「ぼたん鍋」の店と言われ、100年以上続く日本料理店「京料理 畑かく」にお邪魔して、三代目店主新造一夫さんにお話を伺いました。

猪肉は縄文時代から食べられていた食材で、どの時代でも地方の里山では貴重なたんばく源として食されてきた。生き物を食べることが禁忌とみなされていた時代であつても、馬肉を「さくら」、鹿肉を「もみじ」と呼んでいたように、猪肉も「ぼたん」と隠語で呼ばれ流通されていたほど。ちなみに、猪肉を薄切りにして、牡丹の花に似せて皿の上に盛り付けた姿から「ぼたん肉」と呼ばれるようになったと思われがちだが、「唐獅子牡丹図」のように獅子と牡丹の花がセットで描かれることがあつたことから付けられた隠語と言われている。

「畑かく」に一歩足を踏み入れると、風情ある数寄屋造りの建物が印象的だが、それより先に、ほつと落ち着く出汁の香りに満たされる。また、皿に盛りつけられた猪肉は、想像以上に



「京料理 畑かく」三代目店主

新造 一夫

上京区内構町

大輪の牡丹で圧倒される美しさである。一般的にぼたん鍋というと、味噌か醤油で味付けし、風味づけに日本酒や味噌を加えるのだが、京都らしく白味噌で煮て、京野菜とともにポン酢でいただくのが「畑かく」流。京都人の味覚に合う料理として先々が考案したようだ。

「畑かく」は、御所の御狩場である京都洛北・雲ヶ畑の宿屋の息子として生まれた先々代が、上京区で大正7年に創業。京都に愛されるよう白味噌仕立てにして、猪肉を牡丹の花のように盛り付ける独自の「ぼたん鍋」を広めていった。

鍋に入れる野菜も厳選し、京都で主流だった青ネギではなく関東からきた白ネギを採用。

他にも、聖護院大根、ささがきごぼう、せりなど、猪肉に負けず、且つ猪肉に合う食材を探索して取り入れてきた。井戸水で出汁をとるこだわりは今も変わらない。





創業当初は西陣界隈が活気横溢であつたが、ケモノ肉を食べる習慣がなく、魚料理が中心の時代。「ぼたん鍋」を食べに来る人は少なかったという。そこで、試食会を行い、地域の方々に口コミで広めてもらったとの事。現店主である新造一夫さんは言う。「西陣に育ててもらいました。西陣には今も感謝しています。」

新造さんのお話から節々に「おもてなし」の心が伝わるやさしい言葉が出てくる。お客様や地域に対する感謝の思いが根底にあると感じた。「京都には他にも美味しい店が多くありますが、ライバルというより、みんな仲間やと思えます。地域の方が育んでくれました。西陣とそこの人々、そしてきばつてくれる家族のおかげでこの家業が成り立っています。」

「畑かく」では、囲炉裏を囲み、炭をおこして土鍋でいただくのが基本的なスタイル。炭が燃え尽き炎が終わる頃に、丁度お鍋の中も無くなるよう計算されているとの事。「料理は「食べに行く」と決めた瞬間から美味しいものやと思います。香り、雰囲気、その時間、そしてもちろん味…。それらが全て美しく初めて美味しい、幸せと感じられるのではないのでしょうか。そのために精一杯おもてなしをさせていただいています。幸せを感じていただくため、是非お店に来てほしいですね。」

「こういう新造さんの人となりも含めて取材する素材全てが美しいと感じた。」

京都は古来より新鮮な生食材が集まり難い地域。だからこそ工夫する。新しいものを柔軟に受け入れようとする。そんな背景もあつて白味噌仕立てのぼたん鍋も浸透していったのだろう。しかし新しいものを受け入れようとするが故、同じことを守り続け、維持していくのが難しい地域とも言える。

特に変化の著しい今日、変えるものと変えないものを見極める事が重要になる。「畑かく」でも仕入れ先が家業をたたみ、否応なく変えなくてはならない事や生活習慣の変化から囲炉裏ではなく椅子席を用意する、感染症予防の一環として取り箸を使う等、少しずつであるが変わってきている。

「同じことを守り続けるのが難しい時代。変えるべきものは変えなくてはならない。それを怠らない事が、本当に大切なものを守り、次の世代のために維持していくことに繋がると思えます。」こんな新造さんの言葉から、畑かくは時代を超えて愛され続けていくことを確信した。

「畑かく」のぼたん鍋は、一番美味しい時期に提供したいとの思いから、11月15日から3月下旬までの冬季限定品となっている。この他、通年で京の会席料理や松花堂幕の内弁当、夏季には「鰻しゃぶ」を提供している。数寄屋造りの部屋で中庭を眺めながら京料理を味わうのも趣深いだろう。西陣の旦那衆をうならせた伝統の味は今も変わらない。そろそろ炭が終わる時間のようだ。

最後に、取材で訪れた私に対しても心からの「おもてなし」をして頂いた新造さんとお店の方々に感謝したい。

(b e 京都館長…岡元麻有)

ぶらり上京

『源氏物語』の舞台を巡る(桐壺巻)

— 平安京内裏・後宮の人々 —

同志社女子大学嘱託講師 飯塚ひろみ

「いづれの御時にか、女御、更衣あまたさぶらひたまひけるなかに」——言わずと知れた『源氏物語』の冒頭です。「御時」は天皇

の御代のこと、「女御」は天皇の天皇の妻としての呼称です。「ど

の天皇の御代であったか、女御や更衣が数多くいらつしやった中に」

と物語は語り始めます。天皇と数

多くの女性たちが暮らしていた場

所、それが平安京内裏です。内裏

は、平安京の北部中央に位置した

大内裏の中にあり、現在の上京区、

千本丸太町交差点の北東にあった

区画です。そこには様々な建物が

配置されていました。それらは『源

氏物語』の中ではどのように描か

れ、そこではどんな出来事が繰り

広げられているのでしょうか。本

文をたどりながら、平安京内裏を巡ってみましょう。

桐壺巻 — 愛憎ひしめく後宮 —

○桐壺(淑景舎)・後涼殿

桐壺巻では、格段に目立って帝に寵愛される一人の女性を描き出

されます。私たちが「桐壺の更衣」

と呼ぶ登場人物です。後宮にいる

他の女性たちの嫉妬を生み、男性

貴族にとっても悩みの種となりな

がらも帝の寵愛は絶えず、「世に

なくきよなる玉の男御子」すな

わち光源氏が誕生することとなり

ます。

帝には既に第一皇子がおり、光

源氏は第二皇子にあたります。光

源氏が誕生してから帝は桐壺の

更衣のことを重く扱うようになり、そのことが第一皇子を産んだ女御に不安をもたらします。世間では第一皇子が春宮(皇太子)になることが当然とみなされていますが、この時点ではまだ春宮となっておらず、女御は、もしかしたら帝は第二皇子である光源氏を春宮にするつもりなのかと疑い始めるのです。こうした緊張が高まる中、更衣が「桐壺」(淑景舎)に暮らすことが明かされます。

御局は桐壺なり。あまたの御

方々を過ぎさせたまひて隙なき

御前渡りに、人の御心を尽くし

たまふもげにことわりと見えたり。参上りたまふにも、あまり

うちしきるをりをりは、打橋、

渡殿のここかしこの道にあやし

きわざをしつつ、御送り迎への

人の衣の裾たへがたくまさなき

こともあり、また、ある時には、

え避けぬ馬道の戸を鎖しこめ、

こなたかなた心を合はせてはし

たなめわづらはせたまふ時も多

かり。(桐壺巻)



家族葬は公益社

ご相談ください。
ご予算に応じた葬儀を提案します。



小さくて温かい
お葬式と好評です

0120-004-200

ご葬儀お申込み 無料相談 24時間受付

詳しくはホームページで

ブライトホール



後宮の女性たちが協力して桐壺の更衣に嫌がらせをする場面です。

「桐壺」は正式には「淑景舎」といいますが、庭に桐が植えられていたことから桐壺と呼ばれていました。そこから帝のいる建物（清涼殿）に行き来するためには、たくさんさんの建物を通過しなければならず、それが頻繁であるために後宮に暮らす人々の心を騒がせたのです。ある時は渡り廊下に汚物が置かれ、ある時は通り道が塞がれ、といった事柄が記されています。

このような状況を知った帝は、

いとどあはれと御覧じて、後涼殿にもとよりさぶらひたまふ更衣の曹司をほかに移させたまひて、上局に賜す。（桐壺巻）

と、自身の生活の場である清涼殿の隣の「後涼殿」にあった別の更衣の部屋を他に移して、桐壺の更衣に部屋を与えたのです。元々そこにいた更衣からも強い恨みを受けたのはいまでもありません。

○ 藤壺（飛香舎） ひきようしゃ

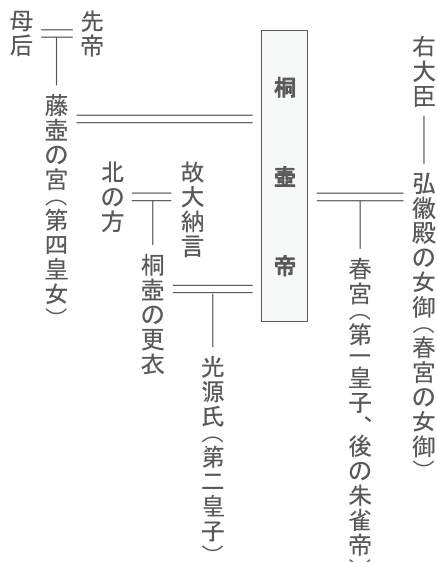
光源氏が三歳になった年に桐壺の更衣は亡くなります。悲しみが消えない帝に、帝に仕える女官である典侍が、先帝の四の宮（第四皇女）が桐壺の更衣によく似ているということを奏上します。心を動かした帝が入内（天皇の妻として内裏に入ること）を所望しますが、四の宮の母后が承知しません。

「あな恐ろしや、春宮の女御のいときがなくて、桐壺更衣のあらはにはかなくもてなされにためし
例もゆゆしう」（桐壺巻）

という母后のことばから、桐壺の更衣を死に追いやったのが「春宮の女御」（第一皇子を産んだ女御、右大臣の娘）であるという噂が立っていたことがわかります。この春宮の女御は後に「弘徽殿の女御」と呼ばれる登場人物です。

母后が亡くなった後に四の宮の入内は実現します。この女性が、私たちが「藤壺の宮」と呼ぶ登場人物です。

源氏物語／桐壺巻系図



HOSOO

HOSOO FLAGSHIP STORE

〒604-8173 京都市中京区柿本町 412
TEL 075 - 221 - 8888 10:30 - 18:00 (祝日を除く)
www.hosoo.co.jp



藤壺と聞こゆ。げに御容貌ありさまあやしきまでぞおぼえたまへる。これは、人の御際まさりて、思ひなしめでたく、人もえおとしめきこえたまはねば、うけばりてあかぬことなし。かれは、人のゆるしきこえざりしに、御心ざしあやにならずしぞかし。(桐壺巻)

本文には、藤壺の宮(「これ」

は身分がひとときわ高いために人は彼女をおとしめることができない、桐壺の更衣(「かれ」)はそうではないために人に許されなかったと記されています。藤壺の宮の住む「藤壺」(正式名称は「飛香舎」)は清涼殿に最も近い建物のひとつです。清涼殿から遠く隔たる「桐壺」に暮らしていた桐壺の更衣との格差が、建物の位置関係からも示されているといえるでしょう。

○清涼殿・紫宸殿

光源氏は十二歳で元服します。その場面を見てみましょう。

この君の御童姿、いと変へまうと思せど、十二にて御元服したまふ。居起ち思しいとなみて、限りあることに事を添へさせたまふ。一年の春宮の御元服、南殿にてありし儀式のよそほかりし御ひびきにおとさせたまはず。――(中略)――おはします殿の東の廂、東向きに椅子立てて、冠者の御座、引入の大臣の御座御前にあり。(桐壺巻)

元服とは男子が成人となったことを示す儀式です。大人の服装に改め、少年の髪型である「みずら」を解いて髪を結い、冠を付けます。光源氏の兄である春宮(第一皇子)の元服の儀は内裏の正殿である「南殿」(紫宸殿)で行われたとあります。対して光源氏の元服は「おはします殿」、すなわち帝の日常生活の場である「清涼殿」で行われたことがわかります。元服した光源氏は、すぐに左大臣の娘である葵の上と結婚し、左大臣家に婿として通うことになりますが、

…内裏住みのみ好ましくおぼえたまふ。五六日さぶらひたまひて、大殿に二三日など、絶え絶えにまかでたまへど、ただ今は幼き御ほどに、罪なく思しなして、いとなみかしづきこえたまふ。――(中略)――内裏には、もとの淑景舎を御曹司にて、母御息所の御方の人々まかで散らずさぶらはせたまふ。(桐壺巻)

とあるように、左大臣家よりも内裏にいる日のほうが多く、主たる生活の場は依然として内裏のままです。母である桐壺の更衣に仕えていた人々もそのままに、自身の居所として桐壺(淑景舎)を引き継いでいます。

桐壺帝後宮の人物配置

儀式の場である紫宸殿、天皇の日常生活の場である清涼殿のほか、後宮(天皇の妻たちが暮らすエリア)の建物の中いくつかを、桐壺巻から確認しました。『源氏物語』には、これら以外にも、後宮の建物とそこを使用する登場人

物のことが記されています。物語の記述から桐壺帝時代の後宮の人物配置を整理すると次のようになります。登場人物の気持ちを想像しながら、物語の舞台を巡ってみてはいかがでしょうか。

○清涼殿

桐壺帝

○後涼殿

桐壺更衣の上局

○桐壺(淑景舎)

桐壺更衣

(故大納言の娘、光源氏の母)

光源氏

○藤壺(飛香舎)

藤壺の宮(先帝の第四皇女)

○弘徽殿

弘徽殿女御

○承香殿

(右大臣の娘、春宮の母)

承香殿女御

(出自不明、第四皇子の母)

○麗景殿

麗景殿女御

(出自不明、花散里の姉)

桐壺帝後宮の人物配置

(●No.1~14)

(京都市「源氏物語ゆかりの地」説明板配置図 平安宮内裏跡内)



〒602-8469 京都府京都市上京区中筋浄福寺西入中宮町 300
TEL.075-441-0753 URL: <https://www.nishijin-uoshin.co.jp/>

新・古茶道美術品

清昌堂
やました

京都本店・京都市上京区小川通寺ノ内上ル

〒602-0061 TEL (075) 431-1366

FAX (075) 431-1370

<https://seishodo.com/>

お気軽にお問い合わせください

藤原道長

上席特別客員研究員
小嶋一郎

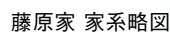
その初回は、歴史の教科書でもお馴染みの「藤原道長」。

■華麗なる一族（藤原北家^{ほつけ}）に

五男坊(いまたり)というポジション

の「北家（藤原四兄弟の房前が先祖）」の血筋。いわば本家の生ま

が、道長の場合、兄四名の内、二名が同じ母でした。同母兄弟であるならば、余程特殊な能力を持たない限り、兄達の日陰となります。しかしながら兄達が短期間に次々と病死してしまったので、次第に朝廷で重職に登っていくことになります。やがて、娘の彰子を一条帝の中宮として入内させ、最終的には娘や妹達の産んだ帝三人の外祖父となったのです。藤原氏の長い歴史を見ても、異例の出来事であり、まさに摂関家の全盛を築いたといつてよいでしょう。歴史には政治年代とは別に文化年代という特殊な時代用語を使うことがあります。「藤原時代」というのは、道長と息子、頼通よりみちの時代を始めとする平安時代後期を指しています。つまりそのきっかけを作ったのが、道長ということですね。



■政治力だけではなく

文化振興力にも長けたリーダー

また、道長は帝を支える摂関家としての地位を盤石にすることだけに奔走したわけではなく、天皇家や公家の教養を高めることにも注力しています。自ら率先して歌会を開き、和様文化の発展に寄与したり、娘彰子に付けた女房衆に、物語や日記の執筆を勧めたりもしています。紫式部の「源氏物語」や和泉式部の「和泉式部日記」が道長の後押しや勧めであったとも考えられています。

また、道長に限ったことではありませんが、貴族達は、かなりために日記を付けています。有職故実や礼儀を重んじ、朝廷内ではマナーを守るためにも、日々の行動、年中行事、装束や持ち物、暮らし



誠心院 藤原道長坐像
＜画像掲載協力：誠心院＞



「法成寺」址石碑
(上京区荒神口通寺町
東入北側)

向きを克明に残しておくことは必要であったとされます。道長の日記は「御堂関白記」と呼ばれ、今に伝わります。高い地位に就き、莊園(領地)を多く所有しただけでなく、高い精神性も必要と考えていた先見性のある人物であり、周囲に対しても影響力の強い人だったのでしょう。

■道長の暮らした屋敷と往生の地

道長が住んでいたという「土御門殿」は、現在の京都御苑内で、大宮御所・仙洞御所の辺りであったとされています。「紫式部日記」では彰子が出産のため、里帰りをした場面にも登場しています。「秋のけはひ入りたつままに、土御門殿のありさま、言はむ方なくをかし。池のわたりの梢ども、遺水のほとりの草むら、おのがじし色づ

きわたりつつ、おほかたの空も艶なるに、もてはやされて、不断の御読経の声ごえ、あはれまさりけり。」と、秋の気配が進む中、寝殿造の大邸宅に、安産祈禱の聲が響き渡る様子が描写されています。きっと道長も皇子の誕生を待ちわびていたのでしょう。また、法成寺という寺院を「土御門殿」の東に創建し、九体阿弥陀堂を建立。道長は臨終に際し、阿弥陀如来の手と自分の手を五色の糸で結び付け、極楽往生を願いながら息を引き取ったとも伝えられます。吉野の金峯山(大峰山山上ヶ岳)に納めた「経筒」や、法性寺五大堂に五大明王像を造立したことといい、御仏への大いなる信仰心が、強い精神の支柱として存在していたのでしょう。



公益財団法人

冷泉家時雨亭文庫



<https://reizaike.jp>

心しづめの宮

御霊神社

(上御霊神社)

毎月18日 さえずり市(5月を除く)

上京区上御霊前通烏丸東入

電話075-441-2260

■肝試しにも動じなかった 豪放磊落な人物！

道長の豪胆な人物像を思わせる
こんなエピソードが残っています。
歴史物語「大鏡」に拠ると、花山
天皇の御世、五月の雨の降る夜、
内裏で帝が、今でいう「肝試し」
を道長に打診してみますと、道長
は「是非に。」と即答します。そ
して道長のみならず、兄二人にも、
試験が与えられ、三兄弟は、夏の
雨の降る夜に、内裏の中心から、
その周辺を歩くことになったの
です。

「大鏡」の原文（抜粋）を見て
みましょう。

「いと興あることなり。さらば
行け。道隆は豊楽院、道兼は仁寿
殿の塗籠、道長は大極殿へ行け。」
と仰せられければ、よその君達は、
便なきことをも奏してけるかなと
思ふ。」（訳…誠に面白いことだ！
行つてきなさい。藤原道隆は豊楽
院、藤原道兼は仁寿殿の奥、藤原
道長は大極殿へ行つてきなさいと
帝が伝えると、居合わせた他の公
達は、（道長殿は）全くとんでも

ないことを奏上したものだ、と感
じていた。」

とぼつちりを受けたのは、道長
の兄二人でした。「なぜ我々もが行
かねばならないのだ。」と心の中
では悲鳴を上げていたことでしょう。
案の定、兄二人は、目的地に達す
ること叶わず、ただ一人、道長だ
けが敢行し、試験をクリアしまし
た。しかも、大極殿まで確かに行つ



大極殿跡 石碑（上京区千本通丸太町上ル）

てきた証拠として、高御座に南面
する柱を少しだけ削り取り、その
削り屑を手に持って、意気揚々と
帝のもとまで戻ってきたのです。
帝が蔵人（秘書）に命じて、道長
が持ち帰った柱の削り屑を、実際
に大極殿の柱にあてると、ピタリ
と一致しました。

このエピソードは、道長の勇気
ある行動を称賛するだけではな
く、実際に行つてきたとい
う証拠を持ち帰るという冷
静な判断力をもうかがわせ
る余話です。この肝試しが、
実際に有ったこと（事実）
を記しているのかは判りま
せんが、「大鏡」に記され
ているということは、少な
くとも「道長殿はこういう
御方である。」という見方
が浸透していたということ
になります。失敗を恐れな
い「豪放磊落」と、成功
を手繰り寄せるための「冷
静沈着」さを併せ持つ人物
であったといえるでしょう。

京都御所西
護王神社
〒602-8011 京都市上京区烏丸通下長者町下ル
(地下鉄丸太町駅下車北へ7分)
<http://www.gooujinja.or.jp/>

足腰の守護神

電話 441-5458

歴史文字シリーズ

伝達浪漫

紀元前3000年頃。パンのシンボルが描かれ、食料配給の割り当てが記録されている。

和光印刷株式会社
〒602-0012 京都・烏丸通上御霊前上ル TEL.075-441-5408代
E-mail: info@wako-print.co.jp

新 上京の昔ばなし

水火天満宮と登天石

上京探訪シナリオ研究会 豊田 博一

天神縁起について

菅原道真の死後（903年大宰府で薨去）、道真が怨霊となり祟りを引き起こすと信じられるようになったのは何時からか？諸説があるが、確かと考えられるのは、923年に醍醐天皇の皇太子保明親王（藤原時平の娘婿）が薨去し、これを受けて道真の復権が行われた頃からである。925年皇太子に立てられた慶頼王（保明親王の第一王子、藤原時平の孫）が5歳で夭逝、さらには、930年の清涼殿への落雷で公卿を含む複数の死者が出たことに加え、醍醐天皇の崩御と続く。ここに至り、道真の怨霊が多くの人々に信ぜられる。

その後947年に北野天満宮が創立。987年に一条天皇より「北野天満大自在天神」の御神号を賜り、993年に贈正一位左大臣、さらに同年に贈太政大臣。1004年には、一条天皇が行幸、菅原道真は広く神として祀られる。

1000年代以降には、菅原道真の様々な逸話や祟り、霊験等が、扶桑略記（12世紀頃）、大鏡（12世紀頃）、江談抄（12世紀前半）、今昔物語（12世紀半ば）等々で様々に語られた。

1200年代前半には、これらを下地に菅原道真の生涯や死後の怨霊談、北野天満宮の由緒・霊験などに関する絵巻物が作られた。最古の伝本は北野天満宮所蔵本で、

「承久本」（国宝、詞書に承久元年（1219年）とある）と言われ、「根本縁起」とも呼ばれる。

これ以降各地の天満宮で様々な絵巻が作成されるとともに、菅原道真の物語が広く民衆に伝播していく。

水火天満宮

堀川通上御霊前上るに鎮座する水火天満宮は、社伝によると、923年醍醐天皇の勅願により、菅原道真の神霊を勧請し建立されたと伝わる。

水火天満宮にも天神縁起が伝わる。これが天神縁起の生成の歴史のなかで、どの様に位置付けられるかは確定しづらいが、縁起に書かれている「登天石」（図1）の伝承は古くから語り継がれてきた。この、「水火天神略縁起」（詞書1005年の「水火之天神縁起」に加筆した詞書1696年）を基に、菅原道真公、尊意僧正、登天石にまつわる伝承を解説する。（年号



図1 水火天満宮 登天石

については西暦に、法性坊尊意僧正は尊意僧正に変換している。）

○水火天神略縁起 冒頭、水火天満宮の由緒と菅原道真が幼児の姿で現れ、その後才能を発揮し出世するも、藤原時平の讒言により太宰府に左遷されるまでが簡潔に記述される（原文は略）

○かくて宰府にて月日を送らせ給ふまに、詩文を作り和歌を詠じ給ひて、昔を思し召し出られ、

都を忍ばせ給ふあまりに、御自筆に尊影を写され、御髭を剃り落とさせ給ひて、法性坊の方へ御形見とて送らせ給ひ、ついに903年二月御年五十九にてかくれさせ給ふ。

〔解説〕「宰府」は大宰府のこと。「道真公自筆の尊影」、「御髭」は水火天満宮に伝わる。

○昔、釈尊二月十五日の入滅には五十二類血の涙を流し、今、丞相二月二十五日の身薨逝には六十四州悲の夢をあてされば、周公東遷の後、天その罪を咎めて大風の木を掃ひたる例に違わず、同年の夏のこの比、大風大雨止む時無く、雷電鳴り落ち、鳴り登って、高天も地に落ち、大地もさくろが如く、七日七夜世の中暮れふたがりて、洪水家々を漂しければ、京白河の貴賤男女喚叫事おびただし。

〔解説〕「周公東遷」とは、中国周王朝の政治家周公旦が、幼い成

王を補佐する立場に就くが、成長と共に疎んじられるようになり、僻地楚国に下ることになったことを指す。

○これにより法威を持つて神の念をなだめらるべしとて、尊意僧正をめされしに、

一兩度は辞退申されけるが、勅宣三度に及びぬれば力なく下洛し給ふに、鴨河の水おびただしく増さりて、船ならでは渡るべきようもなかりけるに僧正是を見給ひて「只この車、水の中をやれ」（図2）と仰せければ、牛飼いの命に従いて、みなぎる河の中へ車をおしやりければ、洪水左右に分かれ、車は陸地を通りけり。この時より鴨川を二また河ともいへり。天神、川端の石の上に現れ給ひて、僧正に對

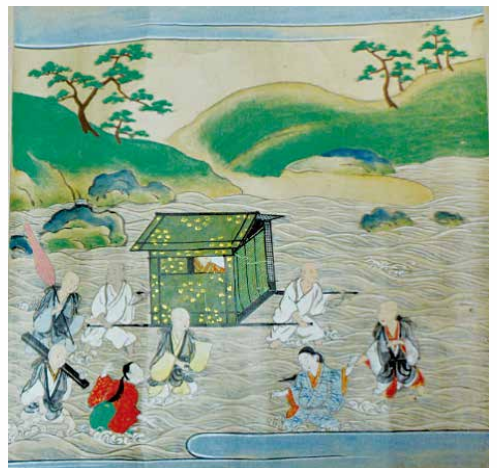


図2 水火天満宮所蔵 水火天満宮絵傳記より鴨河を押し渡る尊意僧正

してのたまふ。「我、師資の契約あらずば、いかでか通すまじきものを」と仰せられ、たちまち天へ登らせ給ふ。御跡の石を登天石と名付く。今に当社に崇め奉る。

〔解説〕「勅宣三度に及びぬれば力なく」は天皇の命令が三度にわたり下され、止む無くとの意味。北野天神縁起等ではこの話には、前段に柘榴天神の逸話（注）があり、「勅宣三度に及びぬれば力なく」は逸話を受けての表現である。「師資の契約」とは、師弟



図3 水火天満宮所蔵 水火天満宮絵傳記より柘榴の実を口に含み妻戸に吐きかける場面

の契りのこと。登天石は現在も水火天満宮に伝わる。同様の話が比叡山延暦寺にも伝わる。比叡山の伝承では、道真の神霊は尊意僧正の説法により悔い改め、自らが十一面観音菩薩となり比叡山頂から天に登ったと伝わり、現在もその場所には登天天満宮が祀られている。

〔注〕柘榴天神の逸話（図3）菅原道真の死後、道真の神霊が、尊意僧正の前に現れ、「すでに、梵天・帝釈天の許しを得たので、都に入って怨みを報じたい。師

弟の契りに免じて、たとえ勅が下つても調伏を辞退して欲しい」と言った。それに対して僧正は「勅が三度に及べば、たとえ師弟の關係とは言え、断わることはいできない」と返事。道真の神霊は、顔色を変え、喉の渇きにと出されていた栢榴の実を口に含み妻戸に吐きかけて姿を消した。栢榴の実は燃え上がるが、僧正は印を結び消し止めた。

○僧正参内し給ひて、年来加持し給へる神^{みづるぎ}釵を以つて、八方拂ひて祈り給ひし程に、雨風も止み、雷電も静まりしかば、主上をはじめ奉り、人々悦び給ふこと限りなし。雨水雷火を鎮められしより、彼の釵を水火の釵とぞ名付けられける。いにしへより、山門にはいささかの事にも恵^{えりよう}亮なつきをくたけば、二帝位につき、尊意^{ちんぎ}智釵をふれば、菅相納受し給ふとも言ひ伝えたり。

〔解説〕「水火の釵」は水火天満宮

に伝わる(図4)。「山門」は延暦寺のこと。「恵亮なつきをくたけば、二帝位につき」とは、文徳天皇の第一皇子惟喬親王と第四皇子惟仁親王(後の清和天皇)との跡目争いに、延暦寺の僧恵亮が独断を使つてなつき(脳髓)を突き碎き、それを乳のように混ぜ合わせて護摩に炊くことにより法力で弟君(二帝)惟仁親王を天皇にしたという逸話。尊意僧正が菅原道真の霊を鎮めた話とセットで比叡山延暦寺の法力の強さを語る成句「恵亮破脳・尊意振釵」として伝わる。平家物語116段名虎にはほぼ同じ表現で使われている。

○かくても猶、天の怒りや止まざりけん。洪水火災疫病等の災難互いに起こりて、国土人民ついに消えうせぬべくおぼえければ、尊意僧正に勅ありて、都一条

の北、下松という所に社をたて、菅丞相を勧請し奉り、御自筆の尊影、御形見の鬚、並びに水火の釵を奉納せられ、即ち、水火天神宮と崇め奉らる事もおろか也。

〔解説〕「事もおろか也」は、言うまでもないの意味。

古くから伝わる伝承を原文に即して読むと、その時代の雰囲気、感性が感じられる。その味わいも含めて後世に伝えていきたいものである。結びに、寺宝を快くお見せいただき、お話をお聞かせいただいた水火天満宮宮司、孝学曉氏に厚く御礼申し上げる。

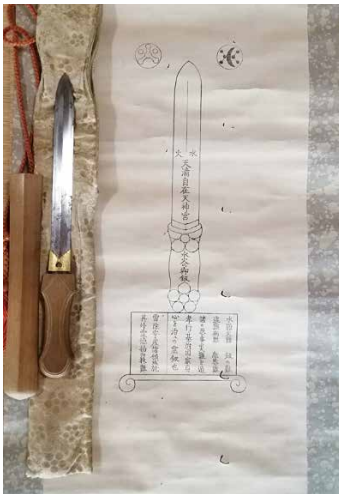


図4 水火天満宮所蔵 水火の神釵

京都に生まれて五世紀



www.toraya-group.co.jp

虎^{とらや}



ぼたん鍋と京料理

元祖 畑かく

京・上御霊前烏丸西

☎〇七五・四四一・〇六一〇代

— 文化庁京都移転記念 —

上京薪能

文化庁京都移転記念 第57回「上京薪能」が昨年9月21日、あいにくの雨により会場を変更し、金剛能楽堂にて開催しました。足元が悪い中でしたが、多くの来場者にお越しいただき、能「羽衣」など様々な演目をお楽しみいただきました。



上京茶会

文化庁京都移転記念 秋の上京茶会が昨年11月5日、大本山妙蓮寺にて裏千家の懸釜のもと開催されました。参加者は十六羅漢の石庭を眺め、澄んだ空気を感じながら一服を楽しまれていました。

表紙

題字／吉川蕉仙氏

写真／西陣・千両ヶ辻 京町家：ひな祭り〈撮影：写真家 水野克比古氏〉

3月3日は上巳の節句。古くから無病息災を願い、穢れを祓い清める行事とされ、ひな人形には、厄災を人に変わって引き受ける人形の役割があったと言われている。また、この時期には桃の花が美しく咲くため桃の節句とも呼ばれるようになった。

※令和6年(2024年)の『千両ヶ辻ひな祭り』は、3月2日(土)～3月3日(日)の2日間で開催が予定されています。

アクセス 市バス「北野天満宮前」下車すぐ
住所 京都市上京区馬喰町
電話 (075) 461-0005

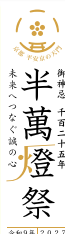


学業成就

災難厄除

北野天満宮

全国天満宮総本社



令和9年(2027)

売買や相続、建築・リフォーム、残置処分にいたるまで

住まいにまつわるお困りごとはお任せください。

寺社仏閣の借地管理等で培った豊富な経験でお手伝いいたします。



いにしへの町を、想う。

玄武管財

602-0898 京都市上京区相国寺門前町647番地1

TEL 075-411-1214

info@kyoto-genbu.co.jp

http://kyoto-genbu.co.jp/



「上京・史蹟と文化」は上京区役所地域力推進室まちづくり推進担当で販売致しております。(TEL 441-5040)



- 神学部
- 文学部
- 社会学部
- 法学部
- 経済学部
- 商学部
- 政策学部
- 文化情報学部
- 理工学部
- 生命医科学部
- スポーツ健康学部
- 心理学部
- グローバル・コミュニケーション学部
- グローバル地域文化学部



同志社大学
Doshisha University
https://www.doshisha.ac.jp



お問合せ先 同志社大学 広報部 広報課 TEL : (075) 251-3120



京都人さえもが恋するホテル。

BRIGHTON
HOTEL

〒602-8071 京都市上京区新町通中立売（御所西）
TEL.075-441-4411 (代) FAX.075-431-2360
https://www.brightonhotels.co.jp/kyoto/

(東洞院通)

大丸さん北隣のよろず屋 四条店では

時計・貴金属

高価買取実施中!

鑑定書なしでも高額査定!

グループ創業70年の信用と安心

ブランド品 販売・買取 (株)よろず屋

京都府公安委員会許可 古物商 第11061号

ATF全国貴金属ブランド品協会 認定店

本店 地下鉄「今出川駅(6番出口)」隣 TEL 0120-25-0700
TEL 10:00~19:00 [土曜は18:00迄] 日曜・祝日 10台有

四条店 地下鉄「四条駅(20番出口)」すぐ TEL 075-241-7900
TEL 10:00~19:00 大丸京都店 北隣(東洞院通) 年中無休

●FGA(英国宝石学協会)認定資格者がおります。●公共機関の鑑定士もつとめています。

「たのんでよかった!」
皆様のそのひとことを目指した
住まいづくりを心がけております。



西陣の大工さん

みずほ工務店

TEL.075-204-8283

http://www.mizuho-koumu.com

京都市上京区上立売通浄福寺西入上る真倉町752

本田味噌本店
京都市上京区堂町通一茶五八



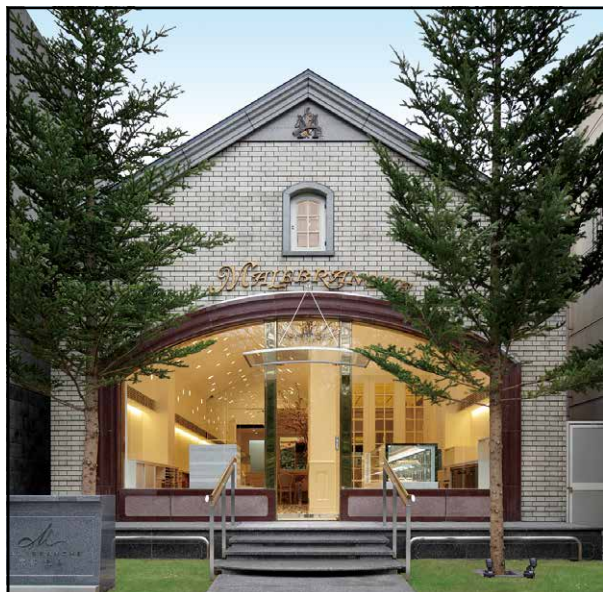
西京白味噌®

<http://www.honda-miso.co.jp>



山田松香木店
香木・薬種・薫香

〒602-8014
京都市上京区勧解由小路町164
(全通下五上上)
TEL(075)441-4694
FAX(075)441-1124



MALEBRANCHE
京都 北山

洋菓子

マールブランシュ 京都 北山本店

〒603-8053 京都市北区北山通植物園北山門前
TEL (075)722-3399・FAX (075)702-9440
9:00AM-5:30PM 年中無休 (喫茶10:00AM-5:30PM)
www.malebranche.co.jp

商品予約専用フリーダイヤル ☎ 0120-668-399

単なるデリバリーカンパニーでなく、
人や企業の信頼を結ぶ運送会社です
どんな内容もまずご相談を!

商品のお預かりから梱包作業、配送まで

封入作業・ダイレクトメール(DM)配送・郵便出荷代行

機密書類の溶解処理

ルート配送・チャーター便(軽貨物～4t車まで)

引越サービス



近運貨二第186号(社)京都府トラック協会会員

株式会社 デリバリーサービス

〒604-0907 京都市中京区河原町通竹屋町上ル大文字町238番地

TEL(075)662-8255 / FAX(075)662-8257
<https://delivery-service.jp/>

